

# 泉南市における教育・保育を語る会 発言要旨

平成16年6月5日(土) 18:00~20:00

場所 あいぴあ泉南大会議室

## <参加者>

一般参加 中学校保護者1名 幼・小保護者8名 学校園関係者13名 一般市民5名 未就園保護者1名  
審議委員 田中 中筋 奥井 杉本 吉野 堀口 井原 三平 福本 黒井 平岡 城野 大谷  
事務局員 梶本 中村 北島 三王 古藤 右馬 浅野 岩本 上野 辻

## \* 幼児教育のあり方について

小学校PTA役員 家内がよく言っていたのは、幼稚園で子どもを見ていただいている時間が短いということ。もう少し長い時間見ていただくと助かる。また、「新しい時代に対応した幼児教育のあり方について」という点では、可能であれば、たとえば幼稚園で英語等学ばせてやりたい。別に詰め込みというのではなく、楽しく、余裕のある保育時間を利用してまなばせてやれたらと思う。

司 会 保育時間について、幼稚園から帰って来て、安心して遊べる場所があればいいのですが・・・。  
4歳の娘の保護者 さんざん迷った挙句、来年から公立幼稚園に行かすことに決めたが、今年から公立(幼稚園)に行かせている親の話を聞くとお弁当のない日は特に帰りが早い。家に帰ってきて遊ぶ場所が限られている。近くに(同じぐらいの年齢の)小さな子どもがいればよいが、うちは全く居ない。いたとしても面識が無く、顔も名前もわからない。近所で集まれる場所が近くに欲しい。今は、いろんなサークルを渡り歩いている。保育所・幼稚園・行政ですべてをカバーしてくれとは思っていない。

4歳の娘の保護者 もともと保健センターのサークルに入っていた。そのOBとして活動を続けていたが、子どもが大きくなり、活動の維持・場所の確保が難しくなってきた。

保育所と幼稚園児の保護者 私も公民館で活動していた。公民館は2年間活動でクラブ活動として認められ使用料が半額になるが、2歳のときにつくろうとしたら、すでに幼稚園の就園時期になってしまう。もうあと少し待てばいいだろうけど、そのあと少しが大変。実際には、利用料の負担が大きい。

司 会 幼稚園に入るまでにどんなものがあればよかったと思うか。  
4歳の娘の保護者 「ひよこらんど」に2歳から入れている。それまでの間、子どもを持つお母さん同士が出会う場があればよかった。自分も他市から嫁いで来て泉南市の状況がよくわからなかった。そんな者同士が初めて出会ってもなかなかすぐにはなじめない。自分は外に出てサークルに飛び込んだが、それができずにそのまま悩んでいる人や孤立している人も多いと思う。何かそんな母親の思いをつなぐ場があればと思う。

幼・小の保護者 私も他市から引っ越してきた。当初は自分の居場所がなかった。以前住んでいた地域では、歩いてすぐのところ公民館や安価で利用できる公共の施設があり、同じ立場の母親が気軽に集まることができた。そういう場があれば、大阪で多発している虐待等の問題も防げるのかなと思う。「ひよこらんど」も年齢制限や子どもの状況、抽選等制限が多い。

審議委員 私の子どもも兄弟で抽選したところ、片方が当選し、片方が落選したという経験がある。一方、青少年センターは抽選があるが、企画はたくさんある。子育てについて、他市から来られた方は情報の少なさに愕然とするかもしれないが、中身は充実したものもあるのでお母さん方も利用して欲しい。逆に、市役所からの情報提供は、やはり少ないといわざるを得ない。

保護者 公民館・図書館・保育所等樽井地区に集中しており、新家・岡田地区にはない。また、牧野の区民センターや老人集会所は利用料が高い。半額にするとか、利用者が少ないときは割引するとか考えれば有効活用はできるのではないかと。

司 会 子どもにどんな力をつけたいと思うか。

小の保護者 問題にぶち当たって解決できない子どもや親が多い。問題を解決する力をつけて欲しい。

- 行政や学校園には何も望まない。私は、いつも子育てを木の成長にたとえる。木(子ども)を育てるためには、まず、土(保護者)が大切。そして、肥料(教育委員会)を加えた上で、先生に剪定をしてもらうことで育っていく。私は、子育ての経験は長いが、ずいぶん、私たちが子育てにかかわってきた頃と状況が違う。
- 今の方の話を聞いて家庭が大事だと思うが、集団生活をおくることも大切。公立幼稚園は保育時間が短い。もっと長ければいろんなことに挑戦もできるし、同年齢の子どもたちがいっしょに遊ぶ時間も長くなる。
- 公共施設の使用料について、最近、区長等をお願いして利用しやすくなっていると思う。営利目的以外は、基本的には無料が原則。しかし、行政の側としては、財源と相談しながら施策を展開せざるを得ない。また、幼稚園については、内容や送迎等民間との違いをどう廉価に運営していくか。従来に比べ公立幼稚園のバランスの悪さが目につく。もう一度見直しが必要。
- 地域の子育てサークル等にもまた就学前教育にもたとえば所管が厚生労働省であったり文部科学省であったりといろんな分野いろんな機関があり、見えにくい。関わっている自分たちにも見えにくいのに、市民の方が見えにくいのもやむをえない。もっと行政サイドのネットワークをしっかりと広げて欲しい。行政として大きなスタンスでニーズを捉えていかないと、「やっている」だけではやっていけない。

## \* 学校教育のあり方について

幼・小の保護者	学校でもっと子どもの権利に関する教育をしてほしい。危険時の通報や助けの求め方等は指導されるが、CAPの様な教育(子どもたちが安全・安心・自由を保障されているという教育。暴力以外で問題を解決する教育)を取り入れて欲しい。ほほ親の子育て支援も含めて。
小の保護者	学校規模の適正化について、市教委は今の現状をどうとらえ、どの程度が適正と考えているのか。
事務局	どの程度が適正化をこの審議会で諮問したところである。現状は、全校児童数十人のところもあれば、千人に達しようかという学校もあり、格差が大きい。
審議委員	うちの学校は、小規模で全校児童が50人程。しかし、適正化と言うことで統廃合の対象となつては困る。よそからもっと来てもらったらいと思う。現在は、ギュウギュウ詰めで先生の目が行き届かない学校と小規模校の二極化が進んでいる。また、学校の位置も校区のはしっこにあって、適正化が望まれる。立て替えは難しいと思われるので、どう活用するかだ。特認法というのがあって他の校区からの受け入れも可能だ。そのことについて、私自身も勉強したいし、皆さんにも知っておいて欲しい。
審議委員	学校教育について府と話をしたことがあるが、民間であればもっと定期的に見直してきただろう。今後、泉南市としてもしっかり見直す必要があると思う。泉南市のあの学校に入れたい、泉南市の学校に入れたいと言われるような町にしていきたい。
一般	泉南市の学校とにかく汚い。そんな中で子どもを育てていかなければならない。たとえばトイレ。うちの子どもは学校のトイレは使いたくないと言っていた。子どもの教育に環境はすごく大事。そんな(汚い)場に子どもをやりたくない。危険箇所も多い。
一般	審議委員の発言心強い。泉南市は変わると期待したい。とりあえずは、一つ一つの問題が、問題視されて、解決が図られているかが重要。場合によっては、専門機関の設置も必要ではないか。
幼・小の保護者	うちの娘は小学校への通学の時、行きは集団だが帰りはバラバラ。校区のはずれに家があり、子どもも少なくなるのですごく心配。どうしたらいいか。交通面でも、子どもが歩いているすぐ横をスピードを上げて車がどンドン通るところもある。子どもの安全をもっと考えて欲しい。
小の保護者	他の小学校の保護者に聞くと校区の危険箇所を保護者が学校に伝える機会があるようだ。学校によってずいぶん対応も違う。岐阜県では、バス通学が取り入れられているところもある。泉南市では、東小学校もバス通学等考えられるのではないか。新家地区の幼稚園の統廃合は地元の園の存続と言うだけでなく、通学路の問題もある。
審議委員	学校のトイレについては順次改修の予定である。たとえば、信達中学校は、今年度中にかなり斬新的なトイレに改修される予定である。
審議委員	※今まで出た意見について ①幼稚園の保育時間について →保育所も私立もあるので基本的には保護者の選択の問題だと考える。ただ、価値観等多様化する中で公立幼稚園のあり方も考えていかなければならない。 ②校区の問題について →東京の品川区等でブロックの中で学校を自由に選択するという動きもある。いろんな選択肢があることは重要だが、大阪で今まで大切にしてきたのは、地域と学校園所がどう連携していくかという視点。そして、現在も地域のニーズをどう取り入れるかという視点は強く求められているものである。地域不在、顔の見えない論議になってはいけな。そういった面で慎重に検討すべきであ。
小の保護者	内の子どもの学校はマンモス校。小2では算数のみ少人数授業が行われているが、好評である。でも、なかなかそのための教室がないと聞く。また、これからの時期、暑くてたまらない。いい取り組みだと保護者は喜んでいて、先生もがんばっている。今、「塾・塾・・・」といわれる中で学校でしていただける取り組み、もっと大切に、広めて欲しい。

審議委員

今、話されてきたのは大人の側の話。子どもでも、小学生だと判断できる。子どもたちの意見を発表できる場を確保して欲しい。また、子どもたち一人ひとりの思いを大切にしたい教育をして欲しい。道徳の授業ではどんな授業をしているのか、ひとりひとりの子どもの心が教育の場、集団の場でどうとらえられているのか、学校の先生に聞きたい。知らず知らずのうちに子どもの思いは消されているのではないか。

審議委員

道徳の時間は、週1時間確保されている。しかし、その1時間にとどまらず、学校生活のあらゆる場で道徳教育は行われている。学校は、全人教育の場。ただし、教師や子どもによって十分伝わらないこともある。

## \* 社会教育について

- 小の保護者 「地域」と言うのは何をさすのか。昔は、ある程度どこの子かわかったが、今はほとんどわからない。小学校の低学年か中学年ぐらいまでは声をかけても聞いてくれるが、高学年はしばしばきちんと聞いていないように思うこともある。中学生になるとこわくて声をかけられない。周囲の知人に相談しても「(中学生等にこえをかけることは)こわいからやめとき」と言われる。もっと、自分たちで考えていかないといけないと思うが、「地域」とはいったい何かと思う。また、「子どものけんかに親が出るな」と言われたものだが、最近は些細なことで、親から電話がかかってくる。私はそんなときも電話には出ない。良し悪しは別として、親自身に相談する話し相手がないのではないか。
- 司会 「地域」のとらえ方にはさまざまあるが、大阪では「中学校」ととらえることが多い。
- 保護者 4校区あって「すこやかネット」の組織もあると思うが、それが本当に機能しているだろうか。年一回のイベントもよいが、本当にそれ以外見えてこない。そういうのがあるということも知らない人がいるのではないか。PTAの組織が、基盤になっていることもあって、PTA関係者中心のものになってしまっている。予算消化に終わっている感も否めない。
- 保護者 中学校区の「地域教育協議会」として、どうして行こうという話し合いが行われていないのではないか。イベントの話し合いだけでなく、地域の中で生起している問題についてきめ細かい話し合いが必要。
- 保護者 一方で「すこやかネット」の構成員でもPTA関係者の方は熱意があると思うが、他の構成員の方は同だろうか。構成メンバー全員に教育に対する熱意がなければ、なかなか前には進まない。
- 審議委員 中学校区の広さでなかなか子どもの顔は覚えられない。ただ、自分の中学校時代の経験として、自分の中学校区の中だと安心して移動できた。それは無意識のうちに「見てくれている」「自分を育ててくれている」という意識が働いていたからだと思う。だから、「(中学)校区」という考え方があるのだと思う。もうひとつ、「地域」を考えると、支援者である大人の側ばかりでなく、子どもの視点も必要。相互の視点の確認が大切だと思う。PTAの役員は、単年度で交代し、取り組みが断ち切られる側面もある。教育に関する取り組みは、日常化していく必要がある。
- 審議委員 ボランティアで地域の子育てに関わっている。たくさん問題が社会で生起しているが、「地域は？」と問い返したとき、「地域は自分だ」と思った。それまで第三者的に「ああしてくれたいのに」と思っていたが、それではいけないと思うようになった。自分の子どもさえよければと思っても、結局、子どもは地域で育っていく。だから地域は大切だと思う。
- 審議委員 地域教育協議会等に参加して思うのは、大人になりきれない大人の存在。子どもの視点で、物事を考えられない。子どもは親の行動、大人の行動を観察している。子どもの立場に立ち、客観的に子どもを見る視点を持って欲しい。
- 保護者 今日の参加者、自分の意見が反映されるか心配。何か反映される場はあるのか。
- 事務局 一人ひとりの意見が返されるかどうかは審議委員さんの判断。今日いただいた意見が、すぐに次の審議会で反映されるかどうか確約はできないが、出していた意見は市のホームページにも掲載する予定。これから一年かけて素案をまとめる。素案がまとまった時点で、意見があれば、また、伺いたい。
- 審議委員 今日はたくさん集まっていたが、非常に有益な場となった。子どもの立場に立つことの大切さやその立場に立つ余裕を親が持つことが必要だと言うことを感じた。今日の意見を審議委員が真剣に受け止めて審議会に望みたい。意見を言い足りなかった方は、用紙に書いて提出して欲しい。